

版画美術館をま
ちおこしの核に

佐藤常雄(公明党)
 〇 わが国最大級の国際版画美術館を、市民文化の殿堂や全国から観光客を呼べる目玉、さらには国際的な版画センターとして蘇生させ、まちおこしの核とせよ。
市長 当初考えた国際版画センター、そういうことも粗上げしながら、そのままやるかは別にして国際的なイベントのようなものをできればやりたい。町田のすぐれたものをアピールしていきたいという意味で多少お金はかかって挑戦してみたい。
〇 市役所は職員が多すぎ、ミスをして責任をとらない、天引きはけしからん等の市民の不評に誠実に応えよ。
市長 町田市は人口との割合の中では職員数を厳しく抑え込んでいく市です。信賞必罰は必罰をしっかりとやっていきます。なお一層市民に信頼される町をつくっていききたい。



国際版画美術館・企画展示室

君が代「音量指導通知」撤回を

佐藤洋子(日本共産党)
 〇 「通知」撤回を求める市民の声にこたえ、教育現場への強制はやめ、子どもたちが主役の卒業式、入学式は各学校の自主性を尊重すべきと考えるがどうか。
教育長 卒業式とか周年行事だとか、十分指導が行われていないと見ざるを得ないため通知をしたものです。人権の尊重教育の徹底、児童の権利条約、子ども憲章の趣旨と

米百俵の志を
教育が大事!

藤田学(新世紀・自民)
 〇 教育の重要性について問う。特段の予算配分を。
市長 限られた財源であり、将来の子どもたちのために優先して、考えてやらなければいけないと思っています。
〇 道路や公園管理等を地域の学校とのパートナーシップで。新たなまちづくり・人づくり政策として提案するが。
牧田助役 地域の町づくり積極的にその地域の方々の

景観法を活かす
子どもを主体に

石井恵子(諸派)
 〇 景観法をどう活用するか。
市長 都市計画法等の中で高い建物が出現することを規制するとか、いろいろな方法をとっています。これからも景観に視点を当てて十分検討を進めていききたい。
〇 地方分権における教育政策の見解を問う。
教育長 区市町村教育委員会には地方教育行政に明記

介護保険改革の
あり方を問う

高嶋均(日本共産党)
 〇 公的年金等控除縮小による被保険者への影響は。
加島助役 年金収入のみの第一号被保険者で影響する人数は、一六〇〇〇人の方が該当します。老年者控除廃止の影響は各所得控除前で行うため影響はありません。
〇 利用料軽減の「特別対策」への市独自軽減措置を今後も続けるべきと考えるが。
加島助役 市も国に準じて

福祉の見かた
取り組みかた

今村るか(社民ネット)
 〇 国や都は福祉のあり方を大きく変えようとしている。この流れの中で市の福祉をどう進めて行きますか。
健康福祉部長 国の社会保障審議会では、介護保険、障がい者支援など、見直しの議論が行われています。本来、国による統一的な措置が必要な施策は、国が責任を持って行うべきと考えており、今後国との動向を見きわめながら

不登校対策の取
組みを充実せよ

川畑一隆(公明党)
 〇 市独自の不登校対策マニュアルの整備とアクションプラン策定等による不登校対策の取組みの充実を求める。
教育長 不登校対応マニュアルを作成し、指導力の充実をしていきたい。中学校全校にスクールカウンセラーを配置し、小学生には、教育センターに適応指導教室を設置し、不登校対応を行っています。
〇 新しい町田市のガバナ

中学生職場体験
は慎重な実施を

佐々木智子(日本共産党)
 〇 全市一斉実施の中学生職場体験は、三千人もの生徒が五日間通って働ける職場確保が市内で可能なのか。
教育長 市長にも出席いただき、各界、各機関、団体の代表の方にお集まりいただき、事業の趣旨を説明して、商工会議所なども通じて全事業所に依頼しています。
〇 小・中学校の不登校生徒の心のケアに当たる特別専

特色のあるま
ちづくりを!

熊沢あやり(自由民主党)
 〇 さいたい血移植に関する進捗状況はどうですか。
市民病院総院長 これから非常に有益な治療法として取り上げられていくものと思っています。当院としても積極的に検討して実現できるようにしたいと思っています。
〇 絵本図書館など特色のある図書館をつくってみては。
教育長 館によって地域の特性を生かした蔵書構成にし

小児救急・障がい者医療整備を



薬師池公園

細野龍子(日本共産党)
 〇 市民病院小児科医師の増員は急務。いつまでに何人の医師確保をめざすのか。
市民病院事務長 小児科の医師が全国的にいない、大学との関係の中で四人継続して来ていただいております。さらにお願いをしていきたい。
〇 周産期センター開設に合わせ、障がい者医療を担える医師配置を行うべきだが。
市民病院事務長 総合母子